

平成 30 年度における食の安全・安心に対する取組について

～ 平成 30 年度埼玉県食品衛生監視指導計画の実施状況(中間報告) ～

1 食中毒の発生状況

11 月 27 日現在、県管轄内で、食中毒事件として 9 件、66 名の患者が発生しています（前年度同時期 11 件、80 名）。

病因物質別の発生状況は表 1 のとおりです。

表 1 病因物質別食中毒発生状況

病因物質		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度 ^{※1}
ウイルス	ノロウイルス	14	11	2	4	2
	サポウイルス	0	0	0	0	0
細菌	カンピロバクター	6	6	8	7	1
	腸管出血性大腸菌 O157	2	0	0	2	1
	黄色ブドウ球菌	0	0	0	0	0
	腸炎ビブリオ	0	0	1	0	2
	サルモネラ属菌	0	0	1	0	0
	ウエルシュ菌	0	1	2	0	1
	寄生虫	アニサキス	1	1	1	2
自然毒	クドア	1	0	1	0	0
	毒キノコ	1	0	0	0	0
化学物質	植物性自然毒(有毒植物)	0	3	0	0	0
	ヒスタミン	0	1	0	0	0
その他	不明	0	0	0	1	0
合 計		25	23	16	16	9

※1：11 月 27 日現在

2 食品関係施設への監視指導状況(10月末現在)

食品関係施設については、県内4か所の保健所に設置された食品監視担当、食品安全課特別監視担当、13保健所の生活衛生・薬事担当及び食肉衛生検査センターが連携し、80,175施設に対し延べ25,987施設に監視指導を行いました(表2)。

表2 食品関係施設への監視状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (10月末現在)
対象施設数	91,179	89,586	80,175
監視施設数	61,185	56,374	25,987

(1) 重点監視対象施設への監視状況

- 社会福祉施設等のハイリスク集団施設に対する指導 946件
- 生野菜を加工・提供する施設に対する監視指導 293件

(2) 県民等に対する食中毒予防普及啓発

- 小学生向けリーフレットの作成及び配布 48,000部
- デジタルサイネージの活用 4会場
- 大型スーパー等の官民連携による啓発 796施設
- 出前講座、研修会 41回 1,567名

3 食品等の検査(10月末現在)

国内産食品748検体、輸入食品280検体、合計1,028検体の検査を実施しました。検査内容の詳細については別添のとおりです。